

特定非営利活動法人日本栄養改善学会 関東・甲信越支部
第2回 現場で活動する管理栄養士・栄養士のための『実践栄養学研究セミナー』
—はじめての論文執筆編— 開催案内

日常の管理栄養士・栄養士業務の中で蓄積される様々なデータを上手に活用してみませんか？そして、あなたの実践業務の成果を目で見える形で表現してみませんか？

このセミナーは、論文を執筆したことがない実践現場で活動する方を対象に、日頃の疑問解決や業務評価等を目的に、現場で蓄積したデータを用いて論文執筆を目指します。はじめての論文執筆を目標に、現場の管理栄養士・栄養士の方の発表・報告スキルを「少人数制」の演習形式でバックアップします。

1. テーマ

実践現場で得たデータを使って論文を執筆しよう
—はじめての論文執筆に挑戦—

本セミナーを受講すると、次のようなメリットが得られます。

- ①実践業務の中で疑問に感じている事の解決につなげられる。
- ②自分自身の業務評価ができ、業務効率が上がる。
- ③他職種等に栄養業務の重要性や意義をアピールすることができる（専門職としての評価向上）。
- ④外部発信するためのスキルが向上する。
- ⑤組織内における自分自身の評価向上につながる。

実践業務の中で得られるエビデンスを蓄積・共有することで、実践栄養学の発展につなげましょう。

2. 日程・主な内容

第1回 平成30年10月20日（土）10時～16時

- 【講義】 実践活動研究の意義
- 【講義】 先行研究のまとめ方
- 【講義】 研究（活動）計画作成のポイント
- 【講義】 論文執筆のポイント
- 【演習】 チューターと執筆の方向性の整理

第2回 平成30年12月22日（土）10時～16時

- 【講義】 論文の投稿から掲載までの実際
- 【演習】 執筆論文への助言と推敲

第3回 平成31年2月11日（月・祝）13時～17時

- 【演習】 論文のブラッシュアップ
- 【演習】 成果発表資料作成

第4回 平成31年3月17日（日）13時～17時

成果発表会

※講義はいくつかのパートに分けて行います。

※各回の間は、講義や演習内容を参考にご自身で論文執筆に取り組みます。

※内容は変更になることがあります。

3. 会場

女子栄養大学 駒込校舎（東京都豊島区駒込3-24-3）
JR 山手線・東京メトロ南北線 駒込駅 徒歩3分
<http://www.eiyo.ac.jp/daigaku/information/accessmap.html#komagome>

4. テキスト

日本栄養改善学会監修「初めての栄養学研究論文—人には聞けない要点とコツ」（第一出版）を使用します。受講される方は各自でご用意ください。

5. チューターおよび講師

日本栄養改善学会関東・甲信越支部会員有志
セミナー期間中は、担当チューターが、論文執筆のサポートを行います。

6. 参加者人数と募集条件

人数：12名

次に当てはまる方を優先的に募集いたします。

- ①全日程参加できる方
- ②論文を執筆するテーマとデータ、研究（活動）計画書がある方
- ③昨年開催した本セミナー（初級編）を受講した方
- ④実践現場で活動する方
- ⑤日本栄養改善学会関東・甲信越支部に在籍している方

※応募者多数の場合は上記条件に合う方を申し込み順で決定させていただきます。

※各回の間に行う執筆作業のためワープロ、表計算、プレゼンテーションの各ソフトが入ったパソコンをご用意いただく必要があります。会場ではパソコン室を使用できる予定（2、3回目）です。

7. 参加にあたって

①受講料：支部会員15,000円

※他支部会員の方はお問い合わせください。非会員の方は学会入会によりご参加いただけます。

②提出物：参加決定者には、9月20日（木）までに電子メールで決定通知をお送りします。同時に送付する事前情報提出票に必要事項を記述して電子メールでご返信ください。また演習準備のため研究（活動）計画書等の提出をお願いする場合があります。

8. 申し込み方法

申込書（ワードファイル）に必要事項を入力の上、電子メールでお申し込みください。申し込み締め切りは、平成30年9月14日（金）です。申し込み状況により、期日前であっても締め切ることがあります。

電子メールの件名は、必ず「実践栄養学研究セミナー申し込み」とし、申込書を添付ファイルにてお送りください。申込書ファイルは支部会ホームページよりダウンロードしてください。

日本栄養改善学会関東・甲信越支部会ホームページ
<http://kaizenkk7.p2.weblife.me/index.html>

9. 問い合わせ先・申込書送付先

千葉県立保健医療大学 健康科学部 栄養学科
荒井 裕介 043-272-2834（直通）
seminar2018@cpuhs.ac.jp